

信用 = 信心
取り巻き
為替

「みんな死んじゃえ。」

中央 = 唯一無二
一つの事例
金色

栄光に至る王の道はただ一つであり、
道をたどれるのは彼ただ一人である。

彼のように生きなければ、
何事も成し遂げられないが、
彼は何人にも真似し得ない、
唯一無二の存在である。

彼は有ると無しとで記述される
全てのものを産み落とした。
全ての鼠の父であり、
全ての橋を渡し、
全ての井戸を掘り、
河原の柳の葉より魚を放った。

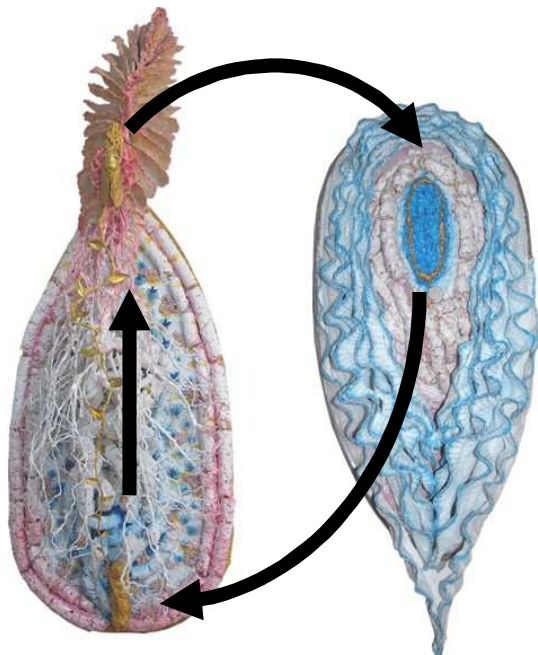
彼が全てを形作り、
他の誰も何一つ作らなかった。
彼は全てを成し遂げた。
あなたは何も果たさなかった。
彼のみが価値ある存在である。
あなたに何の価値もない。

中央の金色は失われたが、
我らは再びここに集う
我らの血と彼らの肉を塗り込めて、
我らの気をもて社を築く

金色を称える我らの信心は、
喪失以前より遙かに倍加し、
我ら血と肉と気の神殿は、
彼らを梃子に膨れあがる

金色の実体は喪失したが、
その気は遙か巨大に膨れ、
信徒の口のみ甘露を与え、
我らと彼ら、全ての者どもに君臨する

偶然にして、一本の道を辿った金色（こんじき）は、
偶然にして、金色の山と社（やしろ）を再び築く。
一本の道は金に染まり、彼は王となり、そそり立つ。



金色は右の窪みで自らを鑄造するが失われる。
金色は昇天し、左の根本へ。
右の社は青ざめ、金色は白化した糞に変わる。
窪みには左が垂らす白濁液が注がれ、蠅どもが集う。
貝殻に隠れるものどもと、
土より生じる泡どもの肉と血と汗は、
共に蠅どもの神殿の壁の基礎を成し、
白化した糞を囲い込む。
蠅どもは卵を産み、神殿は倍加し、膨れ上がる。
それぞれの隙間に蝸牛は静かに卵を産み付ける。



信用創造



たとえば日本銀行がA銀行に1000万円を供給したとする。A銀行は1000万円の10%である100万円を準備金として日銀当座預金に預け入れ、残りの900万円をB社に融資する。900万円の貸付を受けたB社は、それをC社への支払に充てる。C社は受け取った900万円をすべてD銀行に預けたとしよう。この場合法定準備率を10%と仮定しているから、D銀行は810万円を貸し付けることができる。D銀行から810万円の融資を受けたE社はF銀行へ全額預けると、F銀行は81万円を準備金として日銀当座預金に入金し、729万円を融資することができる。このような銀行の貸付行動により、預金通貨が創造されていく。

1,000万円の本源的預金によって創造される派生的預金は、派生的預金 $=1000(0.9+0.9+0.9+\dots)$ になる。ここで、()の中は、初項0.9、公比0.9の無限等比数列の和だ。これを計算すれば、創造される派生的預金は9,000万円であることが導かれる。これに本源的預金1,000万円を加えれば、預金総額は1億円になる。このケースでは、本源的預金の10倍の預金が創造されている。この倍数(ここでは、10)は信用乗数とか貨幣乗数と呼ばれている。

これを貨幣供給の式として、 M, HM, D, Cp, R, m をそれぞれ貨幣量、ハイパワードマネー、預金、民間部門保有の現金、銀行準備、貨幣供給乗数とすれば、次のように示される。

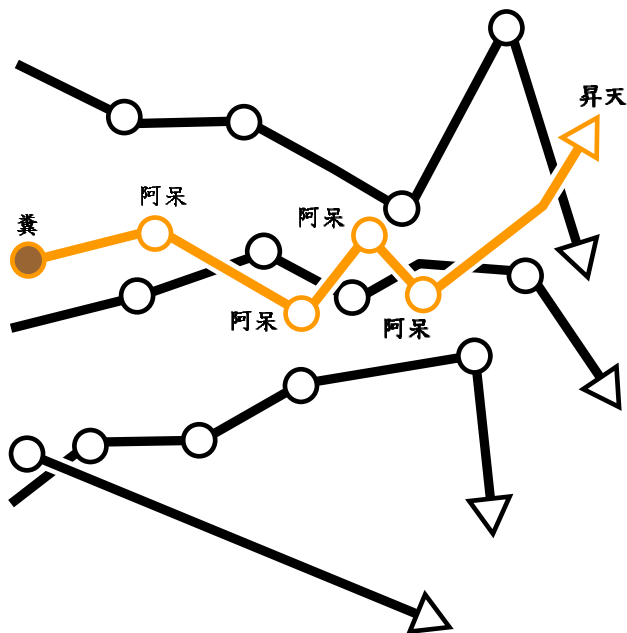
$$\begin{aligned} M &= (1 + Cp/D) \{ (Cp/D) + (R/D) \} XHM \\ &= m \cdot HM \end{aligned}$$

この式は、ハイパワードマネー HM が貨幣乗数 m を掛けた数字だけ大きくなり、貨幣量 M となることを表している。

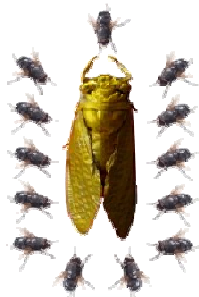
準備金が10%ならば、
元金の10倍で運用できます♪
準備金が1%ならば、
100倍で運用できます♪

単位は一緒

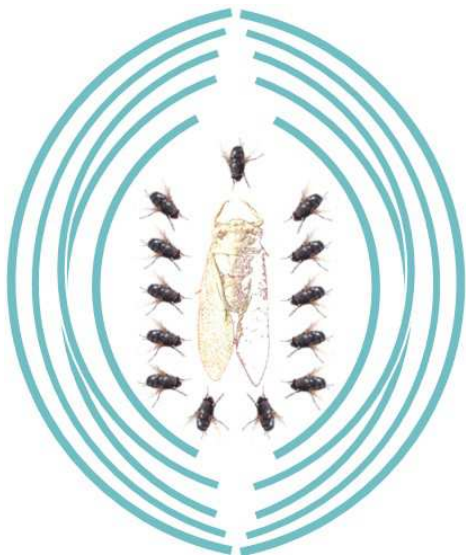
パソコン	60000円/台	銅	750円/kg
表面実装用抵抗	0.2円/個		
	キッチンボウル	100円/個	
組立工時給	800円/時		
アルミ	250円/kg	牡丹餅	100円/個
フロアレディ	4000円/時		
	機械加工工員時給	1000円/時	
手作業内職	5~100円/個		
自転車	10000円/台	米	350円/個
	土木作業員時給	1000円/時	
アンパン	20円/個	イラスト	2000円/枚
野菜炒め定食	690円/食		
家庭教師	2000円/時	鉄	22円/kg



彼の様に阿呆でありなさい。
それが成功の唯一の条件です。
ただし、彼の道は彼にしか通れません。
彼は唯一無二。彼は不出世。
あなたに出来ることは他の人にも出来る。
もっと、安い賃金で。
もっと、長時間。
あなたは要らない人間です。



信じることが全て
信仰は力



彼が鼠を生み出した。

彼がコンピュータを作った。

彼が温泉をもたらした。

彼がまったく新しいカメラを作った。

彼が今の世界を作った。

彼が全てを作った。

あなたたちは何も作らなかった。

あなたの替わりは幾らでもいる。

ビジコン株式会社（日本、初の1チップMPU 4004をインテルと開発）

ダグラス・カール・エンゲルバート（マウスの発明）

村瀬新三（明拓システム、エッジライト方式導光板）

ゲイリー・キルドール（黎明期のOSであるCP/Mを開発）

ダン・ブルックリン/ボブ・フランクストン（ソフトVisiCalc開発）

平仮名を作った人（不詳）

讃岐うどんを作った人々（不詳）

エツ（筑後川の絶滅危惧種の魚）

各地の温泉を見つけた人々（不詳）

いろは歌を作った人々（不詳）

舛岡 富士雄（フラッシュメモリを発明、リストラされた）

ウィラード・ポイル/ジョージ・スミス（CCDの発明）

アイバン・エドワード・サザランド（スケッチパッドを発明）

今朝のお米を作った人々（不詳）

身の回りの市販品、日々の暮らしを作った人々（不詳）

あなたを生み、あなたを育てた人々（不詳）

日々を生きて行くあなた（不詳）



「なに？この無理ゲー。」

「みんな死んじゃえ。」

タイトル： (ペアとして) 本冊表紙記載
(左、蟬) 本冊2ページ記載
(右、蠅) 本冊3ページ記載

作者： 和田聡文

製作年： (左、蟬) 2012年12月
(右、蠅) 2013年1月

素材：

(左、蟬) 木材(ファルカタ材)、ネジ類、
木の根、葉、落ちていた蟬の骸、
雑草の実の鞘、蝸牛の殻、
トイレットペーパー、
木工用接着剤、
アクリル絵具、各種メディウム、
ガラスビーズ

(右、蠅) 木材(ファルカタ材)、ネジ類、
捕らえた蠅の骸、蝸牛の殻、
二枚貝の殻、蟬の抜け殻、
トイレットペーパー、
木工用接着剤、
アクリル絵具、各種メディウム、
ガラスビーズ